

令和 5 年度

生駒市教育委員会主催 夏期研修会のまとめ

令和 5 年 9 月

令和5年度生駒市教委等主催夏期研修一覧

研 修 会 名	内 容	対象者	期 日	人数
生 駒 市 教 育 研 修 会	「子ども自身が学びを進める授業の作り方」 「協同的な学びに支えられた自由進度学習の授業づくり」 「組織的に取り組む学校の働き方改革」	小中教職員	8月2日 (水)	219
生駒市熱中症 予防対策研修会	子どもの暑熱反応特性と熱中症予防策	保幼小中 教職員 保護者	6月21日 (水)	731
特別支援教育 コーディネー ター研修会	奈良西養護学校見学	幼小中特 別支援 コーディネ ーター	8月8日 (火)	56
小学校外国語 授業づくり研修	小学校外国語科における書くことの指導について	小学校教 員	7月27日 (木)	24
生駒市英語 小中連携会議	令和5年度英語教育小中連携計画について	小中教職 員	7月27日 (木)	23

令和5年度

生駒市教育委員会主催
夏期研修会

各研修会参加者アンケート

生駒市教育委員会主催研修会

生駒市教育研修会 実績報告書

【日 時】令和5年 8 月 2 日（水）13:00～16:45

【場 所】生駒市北コミュニティセンター はばたきホール

【講 師】公立学校教諭 葛原 祥太氏 公立学校教諭 新井 雅人氏
公立学校教諭 松永 賢斗氏 先生の幸せ研究所代表 澤田 真由美氏
名古屋市教育委員会事務局指導主事 元公立学校校長 中村 浩二氏

【参加者】219名（小学校 179名、中学校40名）

【テーマ】「子ども自身が学びを進める授業の作り方」 葛原氏・新井氏

「協同的な学びに支えられた自由進度学習の授業づくり」 松永氏

「組織的に取り組む学校の働き方改革」 澤田氏・中村氏

【ねらい】「子どもたちの学びに向かう力の育成」をテーマに、本市で勤務する教職員が課題と感じていることを明確にするために学んでみたい内容について事前アンケートを行った。

事前アンケートに出てきた意見の中で、今年度は市教育委員会としても課題と考える「授業改善」と「教職員の働き方改革」について先進的な取組事例を学び、今後の教育活動を推進するために理解と見識を深めることを本研修会の目的とした。

【事後アンケートより】

1. 本日の研修会全体について（156件）

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4あまり良くない	5 良くない
	34.6%	55.8%	8.3%	0.6%	0.6%

◆ 感想や意見（74件の一部）

- ・変わりにくい教育現場のなかでも、さまざまな試行錯誤をくりかえし実践をされている方々のお話が聞けて大変嬉しかったです。
- ・現場で実践している人のお話は、説得力がありました。研修会に参加された現場の教師もいろいろ工夫、実践されていると思います。
- ・今までにないスタイルで、初めて知る内容だったのでとても楽しかったです。ぜひこのような形で、新しい学習の形態や学校の在り方を知っていきたいと思います。
- ・評論家の方よりも、実際に現場で実践をされている方のお話の方が分かりやすく、納得、共感できることが多いと思います。
- ・今回の研修は、講師の方を事前に forms でアンケートをとって検討してくださり、より教職員のニーズに合った時間になったと思います。これからもこの方式で、研修をして頂けるととても嬉しいです！
- ・内容の濃い研修をコーディネートして頂き大変有意義な学びでした。ありがとうございました。単なる

講義形式ではなく、グループやお隣の先生と意見や感想を共有（アウトプット）できる時間を作って頂けたこともとても有意義でした。時代はどんどん変化していて、マインドや手法も変化しています。今後もこのように変化を知り、自身が変わって行くことにチャレンジできるような研修の機会をつくって頂きたくよろしくお願いします。

- ・革新的な取り組みをされている先生方を講師に招かれていて、多様な学びに取り組もうとされていると感じました。また、登壇していただきたい講師の先生の事前アンケートがあり、審議選考の内容を教員に共有していただけた点からも、教員に寄り添った取組をしていただけていると嬉しく頼もしく感じました。
- ・教職員の健康診断の胃検診の日の研修は、キツイです。バリウムのため下剤を飲んでいるので。できたら、こんなに日は、避けていただけると嬉しいです。
- ・新しい教育の流れについて研修することができて良かったです。ただ夏休みが短くなっているにもかかわらず、研修が増えているために、結局自分が本来学びたいことを研修する時間やふだんできない教材研究や学級経営校務に関わる仕事をする時間はたまた普段取れない年休の消化が思うようにできません。今日のような内容なら移動の時間だけでも減らすためにオンライン参加があっても良いのではと思いました。
- ・生駒市に勤め始めて、初めての夏研修ですが、内容の質の高さに感謝、感激です。市としての大きな意志を感じました。現場にいる教員として、何か行動を起こしてみよう、と勇気をもらいました。ありがとうございます。

2. 各分科会に参加された感想・意見（257件）

「子ども自身が学びを進める授業の作り方」 葛原氏・新井氏（114件の一部）

- ・授業を受身で受けるのではなく、子ども自身が主体的に考え、学習する習慣をつけることの大切さを改めて感じました。主体的に取り組むことで、勉強が楽しいものになることを心に留めておきたいと思いました。
- ・子供の学習意欲を高める素敵な方法だと思いました。これを学年全体、学校全体で取り組むことができればとても有効だと思いました。
- ・学ぶことと生きることは、ほぼ同じである。主体的に学びに向かう態度が発揮できて、トライ&エラーを繰り返しながら、自分で生きようになってほしいというお話が印象に残りました。
- ・学びのコントロールを子ども達に、という考え方がとても響くと共に、担任がコントロールを握る授業ばかりを行ってきたな。と反省する機会となりました。もっと時間をかけてじっくり聞きたかったです。
- ・学習することを楽しい、と思える取り組みで興味ある内容でした。しかし、低学年には難しいのでは、と思います。
- ・「めあて」を意識して授業をしなければいけないなと思いました。めあてという目標を掲げなければ、生徒はどの方向に向かって勉強していかなければいけないのかわからないなと考えました。生徒が学習目標を立てて、学び方を考えていくことについて、教員がアプローチしなければいけないなと思いました。
- ・学ぶ力が生きる力になるということに感銘を受けました。新しい視点からの子どもの延し方、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・具体的にどうやって進めているのかや、失敗談、その失敗をどう変えていったかなどを聞けたらもっとよ

かったです。

- ・主体的に学習に向かう態度をつけてあげたいと常に思っていますが、日々の授業に追われて実践出来ていません。今日の講演は、私にチャレンジすることの後押しをしてくれました。メモを整理して、もう一度自分の心に刻み込みたいと思います。有難うございました。
- ・新井さんのお話は中学の現場での目線だったので、悩みは同じなんだと共感できました。評価の問題などいろいろありますが、些細なことからで良いと言ってもらえたので、できそうなことを行動に起こしてみようと思いました。

「協同的な学びに支えられた自由進度学習の授業づくり」 松永氏(92件の一部)

- ・経験年数の浅い先生から、率直なお話が聞けて有意義でした。今、担任しているのが3年生なので、低学年から、どういった力を育てていけばいいかな、と思いながらお話を伺いました。
- ・聞いただけの時より、人に教える時の方が、はるかに記憶が安定することを改めて感じた。児童同士の学び合いの機会をもっと増やしたいと思った。
- ・協同的な学びをする為に、クラスの中での信頼と承認の関係がまず不可欠なのではと思いましたが、松永先生のお話を聞いて、協同的な学びをすることで、クラスの中でその関係性が培われていく、ということを知り、なるほど、いいなと思いました。
- ・やってみたいと思いました。ありがとうございました。子どもたち自身が学習計画を立て、めあてを考えるその習慣になるまでの過程はどのようにするのかと考えたさせていただけて良かったです。
- ・自由進度型の授業はとても魅力的でしたが、取り組むのは簡単ではなさそうだなとも感じました。ですが、できることから取り入れていきたいと思います。
- ・とても興味があり、参考になる実践報告であった。私は特別支援学級担任をしているが、この場でも実践の可能性を感じた。子どもたち同士での学習で、助け合ったり、学び合ったりする関係性ができたら、より学校生活が楽しくなるだろうと思った。
- ・大変興味深い取り組みではありますが、すぐに実践するのは厳しいかと思いました。
- ・動画で見た子どもの姿は勉強に前向きに感じました。おいて行かれる生徒やわからないまま授業が進んでやる気がなくなってしまう生徒が多いことを感じながらもなかなか授業のペースを変えることができていなかったのが、研修を通して本当に個々に合わせることが出来る授業形態がすごく有意義だと思いました。
- ・苫野先生や岩瀬先生の実践をベースに統合し、児童に向き合って熱心に取り組んでおられ、お若い先生の熱意から学ぶ機会が持てて良かったです。私も学び直そう、取り組み直そうと感ずることができました。
- ・一斉授業は 150 年前の日本社会の実態に合っているものだったという話を聞いて、はっとした。自分は授業中の挙手発言制に限界を感じているところだったので、今後に生かしたいと思った。

「組織的に取り組む学校の働き方改革」 澤田氏・中村氏(51件の一部)

- ・知らず知らずのうちにバイアスがかかってしまっているかもしれないと意識して、本当に必要か代替案はないのか考える癖をつけたいと強く思いました。
- ・グループでブレスト出来たことがとても良かったです。それぞれの立場でどのようなことを考えているのか、よくわかりました。このような小さな気づきが小さな行動につながって行くと感じました。

- ・学校運営チームとしてそれぞれの見え方や思いを出し合えたことで課題や改善策が見えたように思う。また学校長のグランドデザインを具現化するにはどうすれば良いかにもつながっていると思う。教務が学校行事の枠組みを考えたり校務分掌組織の役割をもとに分担してくれたりするのでより連絡を密にして連携協働することで学校改善につながられると感じた。また職員会議で図って決定したとしても価値観の共有には至っていないことも少なからずあるとすれば学年等でのチーム力を高めていける組織にしていきたい。
- ・実践をもっと深く詳しく知りたかったです。
- ・あらためて対話の重要性を感じました。ありがとうございました。
- ・とても興味のある分野で、その実践を知れたことは貴重な経験であった。それぞれの学校の実務者で話をする中で、アクションにつながっているのではないかと思う。
- ・課題が少しずつ見えてきたのもう少し深掘りして話し合えると良かった。
- ・こういう幸せ研究所のような第三者が入って、学校や保護者を繋いでくれたらとてもいいなあ、と思いました。今回参加して、「人は誰でも失敗するし、失敗に優しくなろう」ということを大事にしたいなあと思いました。
- ・澤田さんが「先生方は繊細だ。」とおっしゃっていたのが印象的でした。保護者・地域が、なんでもかんでも学校に言うのではなく、学校・保護者・地域みんなで育てていけるのが理想だと思います。その実践例をたくさん紹介していただけて良かったです。
- ・ただ勤務時間の縮減だけを求める働き改革になっていないかという問いかけが最も心に残りました。

3. 「令和5年度 生駒市教育研修会」アンケート結果の検証

- ・今回の研修会の参加者のうち、90.4%が研修会全体について「とても良い」「良い」と回答している。研修の内容について事前に教職員向けにアンケートを実施することで、教職員のニーズに合った研修となったと考えられる。
- ・学習指導要領が改訂され、その中で「授業改善を行うこと」との記載がある。どのように授業改善を進めていけばよいのか悩んでいる教員にとって、今回の研修は、これまでの自身の授業の在り方を考えたり、主体的な学びの在り方について考えたりする機会とすることができたと考えられる。
- ・教員の働き方改革について、各校で業務改善を進めるためのグループワークや、これまでの業務においてバイアスがかかっているのではないかと日々問うこと、組織改革を進めることなど、先進的な事例を学び、そこから各校の課題と向き合う時間を設定することができた。研修を通して教職員は、働き方改革を進めるヒントやアイデアを得ることができたと考えられる。
- ・市教委では、今後も授業改善や働き方改革等の現場のニーズに合った研修を進めていくことが「子どもたちの学びに向かう力の育成」につながると考えている。

生駒市熱中症予防対策研修会 実績報告書

【日 時】令和5年6月21日(水) 15:15～16:40

【場 所】各校園にてオンライン配信および後日アーカイブ録画配信

【講 師】大阪国際大学 名誉教授 井上 芳光 氏

【参加者】733名(小学校354名、中学校195名、幼稚園保育園182、保護者2)

【テーマ】子どもの暑熱反応特性と熱中症予防策

【ねらい】平成28年8月16日、生駒市立中学校において、運動部活動中に熱中症により男子生徒が救急搬送され、その後亡くなるという重大事故が発生した。生駒市では、二度とこのような事故を起こさないよう、そして事故を忘れないよう8月16日を「安全を確認する日」とし、生駒市教職員全員で、熱中症予防と対策について理解と見識を深める。令和5年度からは、開催時期を暑さが本格化する前の6月、開催方法をより多くの参加を可能とするオンラインへと変更して実施した。

【アンケートより】

1. 本日の研修内容について(307件)

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4あまり良くない	5 良くない
	25.7%	50.5%	21.2%	1.3%	1.3%

◆ 主な意見(125件の一部)

- ・熱中症で命を落とした子がいることの意識が薄れてきていると感じていました(中略)今日聞かせていただいたことを忘れず、子どもたちと過ごしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・医学的な内容だったので、もう少し具体的な学校現場での対応等が聴ければよかった。
- ・熱中症で死んでしまうことがあるということで、熱中症は怖いものだという意識が強かったが、正しい知識をもって積極的に予防するというお話で意識が変わった。
- ・科学的な根拠より実際の緊急対応などについて話して下さる時間を長く取ってほしい。
- ・子どもは発汗機能が低いことを常に思いながら、夏の体育学習を進めていきたいと思います。
- ・暑さが厳しくなる前にこのような研修を持っていただいたことはとても有意義なことだと思います。ありがとうございました。
- ・生駒市が協力して熱中症について教育委員会を通して発表している事をしれて子供を安心してお任せできる、と思いました。
- ・具体的なデータを通して、大人とは異なる子供の体温調節機能の仕組み、暑さに身体を慣らす事の必要性、また体温より環境温が低い場合には過剰に心配する必要は無いことを理解できた。オンラインでの配信は時間を選ばずに受講出来るので有り難い。
- ・短時間でも体温が上がってしまう体温コントロールの難しさ、汗をかかない子供への注意など幼児の特性による熱中症の怖さや気を付けることがよくわかりました。

2. 本日の研修は、授業実践や生活の中で役に立ちますか(307件)

	1 とても役に立つ	2 役に立つ	3 あまり役に立たない	4 役に立たない	5 分からない
	33.6%	61.6%	2.9%	1.3%	0.7%

◆ 主な意見(100 件の一部)

- ・子どもたちが自分で水分補給ができるようになるよう意識して指導しようと思いました。
- ・若手の先生方が運動活動を指導する際の根拠となると考えています。
- ・熱中症になってしまった時の対処法を、意識がない場合、意識があっても自分で水が飲めない場合、意識がある場合と分けて教えていただけたので、万が一その時が来てしまった時に役に立てたいと考えた。
- ・先生方が子どもたちにどのように話をしたらいいのか、何に気を付けないといけないのかが分かったのではないかと思います。また、熱中症になった際の対処法も教えていただき、多くのことが参考になりました。
- ・体冷却の方法や、子どもの深部体温がどう変化しているかを具体的に知ることができた。専門的などころがよかった。とても勉強になりました。
- ・プール学習や体育科の授業、2 学期の大きな行事、また、室内での授業などにおいて参考になることが多くありました。また、放課後子ども教室や地域の方が参加する活動が増えていく中で、配慮することが理解できたところは役立つと感じている。
- ・睡眠時間や食事など生徒の日常の生活や学校の給食指導などに生きる話が聞きたい。
- ・積極的に水分をとらせることの大切さが、理論的にわかった。
- ・こまめな水分補給、休息が必要だと改めて感じました。一人一人の子どもの様子をしっかりと見て、運動の強さを決めていきたいと思います。
- ・子どもたちには、暑さになれるように外遊びを推奨していくことが大切だということがわかりました。
- ・改めて水分補給の重要性がわかりました。熱中症予防として、子どもたちに適宜水分補給を行うよう声をかけていきたいと思います。
- ・夏は気温が高く、教室内や外での熱中症リスクが高くなるので聞かせていただいた対応がとてもためになりました。
- ・子どもの様子を観察し、熱中症のサインが出てないか、周りの大人が注意しないといけないと、改めて思いました。

3. 熱中症対策で困っていること

◆ 主な意見(88件の一部)

- ・水分補給のタイミングをとっていても、適量を飲んでいるかどうか分からない。
- ・体育館競技の部活動で、夏場どうしても室温が上がってしまいます。強制飲水などのソフト面での対策も万全に行うことはもちろんですが、冷房機器の充実等、ハード面での対策も課題であると感じています。
- ・体質的に、なりやすい人等あるのか知りたい。なりやすい人は、更にどのようにすればよいのか知りたい。
- ・声はかけているが、水分を取りにくい園児がいるので心配です。
- ・児童の体調の見極め(通常の疲労なのか、暑さによるものなのか)
- ・判断に不安がある。疑わしきは、救急要請で良いのか。
- ・水泳指導時の熱中症対策や、実施有無の判断が難しいです。
- ・熱中症に対する意識が低下することを危惧します。
- ・体育館が暑くなるので、体育館に児童の体温を下げられるクーラーの設置をしてほしい。

- ・水分補給を促しても飲まない児童が僅かにおり、強制的に飲水する時間を休み時間の前後に設けるようにしているが、下校時の水筒の残量（重さ）からあまり飲んでいないように感じる。
- ・熱中症対策としてマスクを外すよう指示をするが、子どもたちはマスクを外すことに抵抗がある。
- ・熱中症警戒アラートを理解していない大人が多いこと。

4. 今後、市教委主催の研修で実施してほしい内容

◆ 主な意見（53件の一部）

ICT 利用	特別支援教育
プログラミング教育	部活動地域移行
働き方改革事案等	保護者対応
LGBTQ研修	クレーム対応の仕方。
不審者対応（凶器対応）	学級経営
ユニバーサルデザインの授業	コーチング
組織作り	合理的配慮
児童理解	発達障害
アンガーマネジメント	性教育
水難事故（防止・応急処置等）	病気や怪我の応急処置
ALT を活用した授業例	

生駒市教育委員会主催研修会

特別支援教育コーディネーター研修会 実績報告書

【日 時】令和5年8月8日(火)14:00~16:00

【場 所】奈良西養護学校

【参加者】102名(幼稚園・こども園・保育園11名、小学校27名、中学校17名、市外47名)

【テーマ】奈良西養護学校見学

【ねらい】・発達障害等のある特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対する総合的な支援体制の整備・充実を図る。

【アンケートより】(アンケートに関しては市外の参加者の回答を含む)

◆ 感想や意見(84件の一部)

- ・たくさんのアイデアや授業を見せていただき、2学期から取り入れたいと思いました。
- ・授業での取組等、勉強になりました。
- ・いろいろな教材を見せてもらったので、今後の指導に役立てたいです。
- ・奈良西の児童生徒さんが、普段から取り組んでおられる自立活動の様子、よくわかりました。アイデア、肢体でも活用させていただきます。ありがとうございました。
- ・肢体不自由の学校に所属しているので、知的の学校の教室や教材の工夫、授業の取組について知ることができて、勉強になりました。支援方法、工夫など取り入れられることをぜひ実践したいと思いました。
- ・教材や、普段の活動内容が知れて良かった。今日、知った知識を活かしていきたい。
- ・授業に活用できる教材や体験、また子どもたちの様子も写真で見れて嬉しかったです。
- ・教室環境に通常の学校の教室にも活用できるものが多くあると感じました。教材づくりに目の前の子どもたちとの実践を通した試行錯誤の足跡があり、子どもを中心に据えた教育の原点がここにあると感じました。公開に向けて、ご準備くださった先生方、運営にご協力くださった先生方に感謝します。
- ・コロナ禍が落ち着き、今回の研修に参加できたことがとても良かったです。特別支援学級で担任になったのが昨年度からでした。右も左もわからない状態でのスタートだったので不安でいっぱいでした。今回の研修でいろいろなことを知ることができました。ありがとうございました。
- ・子どもたちのための細やかな教材が用意されていて大変参考になりました。多くの特別支援教育担当の先生にとっても良い研修となりました。暑い中、ご準備いただいた先生方ありがとうございました。次回もお世話になります。よろしくお願いします。
- ・本日は、ご準備ありがとうございました。教材等、すごく参考になりました。2学期から生かしていきたいと思います。ご丁寧な説明をいただき、ありがとうございました。
- ・一人一人にあった教材など点字を見せていただき、とても勉強になりました。園に帰って、一人一人にあった支援や教材など再度考えていこうと思います。ありがとうございました。
- ・いろいろご準備ありがとうございました。教材等大変工夫されていてためになるものがたくさんありまし

た。生徒もお世話になっており、学級委員をさせていただいているようで、なんとなく嬉しく思いました。今後ともよろしくお願いします。

- ・奈良西養護学校をあげて、用意し研修をしていただき、先生方の特別支援教育への思いを感じることができました。今日来られた先生方も同じ思いをつなげていって下さると思います。今日はありがとうございました。
- ・授業体験で活動のねらいや工夫している点など丁寧に説明してもらえてよかったです。支援学校のセンター的な機能として何ができるのかをもっと地域にでること考えていけるのではないのでしょうか。もっと話をする機会があればと思います。最近は、時間短縮のためか以前より、話をする機会が減ったような気がします。
- ・幼稚園でも参考になることがたくさんありました。ぜひ職員にも伝えて二学期から取り入れることができるところは個々に合わせて取り入れていきたいです。
- ・指導上で気をつけることを改めて確認できて良かったし、他校の先生とも交流できて良かったです。
- ・いろいろな教材や教室掲示の方法を拝謁でき、とても勉強になりました。すごく面白かったです。ありがとうございました。
- ・非常に多くの学びがありました。ウチの子どもたちならどうするかなあ、こうしようかなあと、あれこれ考えながらのあっと言う間の2時間でした。大変参考になり、今年度一番の研修になりました。ありがとうございました。
- ・簡単なことなのに、なかなか気づかなかったことを発見できてよかったです。難しく考えすぎず、できることを、できる範囲で取り組めそうで、ありがたかったです。
- ・実際の授業体験もあり大変勉強になりました。内容も地域の学校で使えるものということで設定していただいていてすぐにでもやってみたいと思うものばかりでした。公開している教室以外もオープンにしていただいていて心遣いをかんじました。
- ・様々な校種の教室を見学することができ、発達に応じて行われている視覚支援の様子や、工夫点などを知ることができた。どの教室でも担当の教員の方が丁寧に解説してくださったので理解しやすかった。
- ・教材の展示も参考にしたいものが多数あり、充実した研修になった。また体験授業にも参加することができたのも有意義だった。どんな校種や立場の参加者にも持ち帰れるものがある、とても有意義な研修でした。ご準備いただきありがとうございました。
- ・たくさんの教材教具や実践をありがとうございました。この夏作ろうと思っていた教具がさらに明確になりました。話題のコグトレも体験できて、調整力もそうですが、空間認知の改善やボディイメージの確立にそれは役立つわ!と実感しました。2学期いろいろ取り組みたいと思います。ありがとうございました。
- ・各クラス的环境づくりや教材など、先生方の工夫やアイデアが盛りだくさんで感動しました。子どもたちがどうしたら活動に参加できるか、楽しめるか、自分の思いを伝えられるか、いろいろな課題に対して、一人一人に向き合い、支援の手立てを考えられていて、試行錯誤しながら寄り添ってらっしゃるのがよく伝わりました。たくさんの気づきや学びをありがとうございました。園やクラスの子どもたちへ返していけたらと思います。

生駒市教育委員会主催研修会

小学校外国語 授業づくり研修会 実績報告書

【日 時】令和5年7月27日(水) 9:30～12:00

【場 所】オンライン配信

【講 師】奈良県教育委員会事務局学ぶ力はぐくみ課 指導主事 島田浩司

【参加者】24 名(小学校23 名 中学校1 名)

【テーマ】書くことの指導について

【ねらい】令和2年度より小学校で新学習指導要領が全面実施となった。また、令和3年度より中学校で新学習指導要領が全面実施となり、小学校での教科としての英語学習がスタートした。子どもたちが中学校での学習をスムーズに進められるよう、小学校でも英語に慣れ親しむだけでなく、基礎知識の定着が必要とされている。今回の研修では、「書くこと」の指導について、講話やグループ討議を通して、教員の理解を深める。

【アンケートより】

1. 本日の研修内容について

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4あまり良くない	5 良くない
%	77.8	22.2	0	0	0

- 「書く」ことに特化した内容で分かりやすかったです。
- 書くことについてよく分かった
- 色々な学校の具体的な取り組みが聞けたこと。
- 書くことについて詳しい研修を受けたのは初めてでした。2学期以降に生かすことのできる内容だと感じました。
- 現場の様子をよく理解いただいた上での分かりやすいお話でとても理解できました。
- 主に書く活動について、外国語活動と外国語科の目標を比較したり具体例を示していただいたりすることで、分かりやすく確認することができました。
- 外国語活動と外国語科における目標の違いについて分かりやすく学ぶことができた。
- 書く活動の大切さを再認識できた
- 指導要領の内容が端的にまとめられていてとても分かりやすかったです。
- また、ブレイクアウトで他校の取り組みを聞けたことがとても有意義な時間となりました。
- 教科書のまま指導するのではなく、目的、場面、状況の設定をしっかりとした上で活動させることが大切だと分かりました。
- 自分がこれまで言語活動を取り入れられていなかったことを反省できたとともに 2 学期からどのような活動をしていけばいいのかというヒントがいただけたと思いました。
- 中学校での話を聞く機会がなかなかなく、小学校卒業時以降の見通しをもって指導することを難しく感じることもあったので、とても参考になりました。
- 講義と話し合いのバランスが良く、有意義な内容でした。
- 書く活動で指導する具体的な内容がよくわかったから。外国語の目標や言語活動について振り返ることができました。
- 「書くこと」の指導で、具体的なお話を聞けたから。
- 指導要領から、一つの領域に絞って丁寧な話をいただけたから。

- 段階的にめあてを意識することが大事だと分かりました。
- 「書くこと」について、しっかり聞かせてもらう機会が今までになかったから。

2. 本日の研修の内容は、授業づくり、子どもたちへの指導等に役立ちますか

	1とても役立つ	2役に立つ	3あまり役立たない	4役に立たない	5わからない
%	66.7	33.3	0	0	0

- 小学校低中高から中学校までの長いスパンでの学習の流れがわかって、今担任している小学 2 年生ではどんな力を身につけさせたいのかというイメージができました。
- ほかの先生方と交流できたことで、具体的にどんな活動ができるかを考えることができました。島田先生の説明も指導で大切にしないといけないポイントを分かりやすく示してくださいました。
- 今後、高学年で起こり得るつまづきを解消できるような声掛けや指導を低学年から始めることが大事だということを改めて実感することができたからです。
- 今日学んだ内容を、2学期以降の授業づくりにさっそく活かしていける内容だったから。
- 系統的に教えていただけたから。
- (1)と同じく具体例が聞けたのがよかったです。アルファベットの読みの活動でも、アルファベット順に並んでいるシートだけではなく、順番を入れ替えたシートを用意して指さすなどの活動は低学年からでもできると思いました。
- 継続的に各活動をしていきたいと感じたことと、他校の取り組みや悩みを共有できたため。
- 今後、外国語を指導するようになった時には目的意識をはっきりとさせたい。
- 大文字や小文字の名称と発音のことなど、島田先生が取り組まれてこられた方法を聞かせていただけたこと。

3. 日頃の外国語活動、外国語の授業で困っておられることがあれば具体的にご記入ください。また、本日の研修に関しての感想やご意見などがありましたら、ご記入ください。

- 活動を考えるだけの余裕がない。学年で共有することもできない。ALT ともゆっくりと話ができないで、行き当たりばったりな授業になってしまっている。というのが 1 学期の惨状でした。
- 色々なヒントをありがとうございました。
- 本日はありがとうございました。書くことの大切さと難しさを改めて感じました。当たり前のことですが、子ども達が中学校で困ることのないよう、小学校でできることをきちんと身につけさせたいと思います。
- 日々の業務の中で、外国語活動の打ち合わせの時間(学年内、また ALT の先生と)を何とか確保している状況です。先生方個人の得手不得手がある中で、協力して外国語活動の授業を進めていくのは努力のいることだと思います。子どもたちのために、学年の先生方に有意義な提案ができるように頑張っていきたいなと思いました。今後も、小学校1年生から中学校3年生までの縦のつながりを意識し、生駒市の CAN-DO リストもしっかり読んだうえで、外国語活動を進めていきます。今日はありがとうございました。
- 一つ一つの指導が、なかなか積みあがっている実感が持てないことがある。子供たちが興味関心を持つような言語活動や、ALT の連携などについて研修を積んでいきたいと思った。

生駒市英語教育小中連携会議 実績報告書

【日 時】令和5年7月27日(水) 13:30～16:00

【場 所】生駒市南コミュニティーセンター 303

【参加者】23名(小学校14名 中学校9名)

【テーマ】前半 全体会 持続可能な小中連携を目指して

後半 中学校区別交流会 情報交換及び令和5年度小中連携計画について

【ねらい】令和2年度より小学校で新学習指導要領が全面実施となった。また、令和3年度より中学校で新学習指導要領が全面実施となり、小学校での教科としての英語学習がスタートした。子どもたちが中学校での学習をスムーズに進められるよう、小学校教員は中学校入学までに身に付けておくべき力について明確に意識しながら授業を計画する必要がある。また中学校教員は、小学校での取組内容についての確に把握し、小学校での学びを活かせる授業を計画しなければならない。当会議においては、小中それぞれの新学習指導要領の内容を確認すると同時に、中学校区ごとの現状を具体的に報告しあい、持続可能な小中連携を目指して小中連携計画をたてる。

【アンケートより】

1. 本日の研修内容について

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4あまり良くない	5 良くない
%	61.9	38.1	0	0	0

- 今後の英語教育の指針になった。
- 各校の取り組みや現状を共有できてよかった。
- 小学校・中学校で色々な意見や実践が聞けた。
- 実際に中学校の先生と交流できてよかったです。
- 縦と横のつながりがもてた
- 中学校、隣の小学校の現状をしることができてよかったです。
- 中学校区の先生方と情報共有をできたから。
- 中学校との連携を取れたこと。中学校の現状を知ることができたこと。
- 中学校の話を聞けたことが収穫です。
- 今年度、取り組むべきことが明確化される。
- 校区の先生方と話す機会が少ないので、貴重な時間となりました。
- 今までぼやっとしていた英語教育について、輪郭がはっきりしたように感じる。
- 校区外の小中の様子が聞けてよかったです。
- 中学校での様子を聞くよい機会となったため。
- 小学校の先生方の頑張り、努力に襟が正されました。
- 校区、市内、様々な情報交換をできることがありがたいです。
- 小中連携の具体的な視点が理解できました。
- 中学校の先生と交流できること
- 朝の研修にも参加し改めて小学校での「書くこと」に対する指導について知ることができました。5・6年生

で書くことの学習が始まり、それが中学校でうまく引き継いでいないのが課題だと感じます。(どれくらい書けるのかなど、児童の到達度の把握ができていなかった) 話すことや聞くことの小学校でのがんばりは中学校でもおおむね発揮できていると思います。

- また、小学校でのフォニックスの指導をもう少しお願いしたいということもお伝え出来たので、有意義な時間になりました。
- 地区内の情報交流だけでなく、他の地区の現状や取り組みの方向を知ることができたから。
- 中学校の先生の話聞くことで小学校での取り組みの成果を知ることができたことや、他の小学校での取り組みを知ることができたので。

2. 本日の研修の内容は、授業づくり、子どもたちへの指導等に役立ちますか

	1とても役立つ	2役に立つ	3あまり役立たない	4役に立たない	5わからない
%	61.9	38.1	0	0	0

- 小中学校の連携のあり方が少し見えてきたと感じたから。
- 今日相談した連携を今後実現していきたい。
- 2学期に早速実践してみたいと思えるような案がたくさんあった。
- 小学校外国語のめあてを改めて確かめることができました。
- クラスルームでつながれて、情報共有を継続的にできる環境が整ったから
- 中学校、小学校との連携する機会をもつことができ、更に子どもたちが主体的に学ぶ活動につなげることができそうです。
- 2学期からの取組に早速いかせそうだから。
- 「書く」活動について、もう少し力を入れることが大切であると感じたのでそのようにしていきたい。
- 生駒小学校の先生と交流の計画ができました。その他、高学年の子どもたちが中学校に向けてどうするかと考えることができました。
- 中1へのギャップを減らす方法を考えるいい機会になった。
- 言語活動のあり方や、他校区の学校の取り組みを知ることができたため。
- 具体的に小中連携方法を話しあえたので、この機会を活かしてスキルアップを図れそう。
- 中学校に進学した時を意識した授業を行えるように、授業を工夫できたらと思います。
- 具体的に小学校でやってほしい指導について、中学校目線の話聞くことができたため。
- 聞く 話す言語活動を中学校でのより取り入れるような話し合いができました。
- 授業の教材を教えていただき、授業づくりのヒントにもなりました。
- 音声中心から文字への言語活動の学びの具体的な課題が理解できた。
- 中学校での学びに繋げていくための指導の仕方について学べるため
- 特に「言語活動」については改めて見直したいと強く思いました。教科書の消化に追われ、ていねいにできていなかった言語活動を2学期からは積極的に取り入れていきたいと思います。
- この3年間の小中連携会議に参加をし、中学校や近隣の小学校の先生や子どもたちと交流することで、外国語の授業にむけての準備や計画、授業の進め方が大きく変わりました。
- ロイロノートの活用法を知ることができました。

3. 日頃の外国語活動、外国語の授業で困っておられることがあれば具体的にご記入ください。また、本日の会議に關しての感想やご意見などがありましたら、ご記入ください。

- 本日の各中学校区の先生方がまとめられたドキュメントは後日再度閲覧したいです。
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- あまりありませんが、書く活動をしている時のサポート体制が課題です。
- 英語を使って授業をしなければなりません、できていないのが現状です。自分の英語や授業に自身が持てないので、目的等をはっきりさせてこれから取り組んでいきたいと思っています。

- 実り多い研修でした。早速2学期から活かしていきます。
- 小学校全部に専科を入れることは難しいのでしょうか。
- 「言語活動」における、児童が伝えたいと思う必然性など、単元づくり全体に関わって、それぞれどのような先行事例があるのかなと思いました。
-
- 教科書の内容をしながら言語活動もしながら進めていくことが、時間が足りず困っています。
- 書くことに苦手意識がある生徒へのアプローチの仕方を教えていただきたいです。
- 小中連携が外国語活動以外でも行えたら良いと思いました。

○ 令和5年度生駒市教育委員会主催夏期研修会の総括

- ・ 「子どもたちの学びに向かう力の育成」をテーマに、授業改善と働き方改革について今年度は教育フォーラムと共催の形で行った。事前アンケートに基づいた内容を取り上げたことにより、どちらも教育現場のニーズに合った研修となり、アンケートからも好評であったことがうかがえる。
- ・ 生駒市熱中症予防対策研修会では、大阪国際大学の井上芳光氏に「子どもの暑熱反応特性と熱中症予防策」について、実証データに基づく熱中症発症のメカニズムと予防策について講演いただいた。保幼小中の先生方や保護者から熱中症の仕組みを知ること、どうして水分補給が必要なのかを、児童生徒に説明することができ、予防することができると大変好評であった。今回は開催時期を早めたこと、オンライン開催としたことについても好評であった。
- ・ 特別支援教育コーディネーター研修は、コーディネーター以外にも特別支援教育担当者も参加し、奈良西養護学校における自立活動の取組と就学先である奈良西養護学校の様子を参加者が知ることができ有意義となった。
- ・ 小学校外国語授業づくり研修では、奈良県教育委員会事務局学ぶ力はぐくみ課の島田浩司指導主事に「書くことの指導について」をテーマに、前半は「言語活動とは何か」について、その中でも特に「書くこと」について詳しく講義を受けた。後半はグループに分かれ、各校の参加者が感想や、各校での実践、指導に当たって困っていることなど意見交流を行った。先生方からは、「書くこと」について詳しく説明を聞いたことにより、中学校との接続を意識して今後の取組を進めたいと大変好評であった。
- ・ 生駒市英語小中連携会議では、中学校区ごとの教員交流を通して、現状と課題を共有し、子どもたちのスムーズな学びの接続のために持続可能な小中連携を考えてもらった。2学期以降にそれぞれの中学校区の計画を実現できるようサポートし、第2回会議には中学校区で取組の発表を行い、来年度からの連携に活かしていきたい。

○ 次年度に向けて

- ・ 教育研修会は教育フォーラムとの共催により、分科会方式を採用した。しかし運営上複数の部屋に担当者が必要なこと、各分科会の時間が短くなってしまうことなど、開催方法について検討が必要である。
- ・ 熱中症予防対策研修会は、事後アンケートからメカニズムについての説明は十分であったので、学校現場での対応などより具体的に実践できる内容についてより詳しく聞きたいという意見があった。来年度の研修は内容について検討する必要がある。
- ・ コロナ禍を経験し研修のオンライン実施を求める声も多くある。対面でのメリット、オンラインでのメリット等を考慮し、開催方法を決定していく必要がある。
- ・ 夏期研修以外にも平日に行える研修は、本年度同様に平日に行う。